

つながる。つなげる。



DICOMルーター&コンバーターボックス

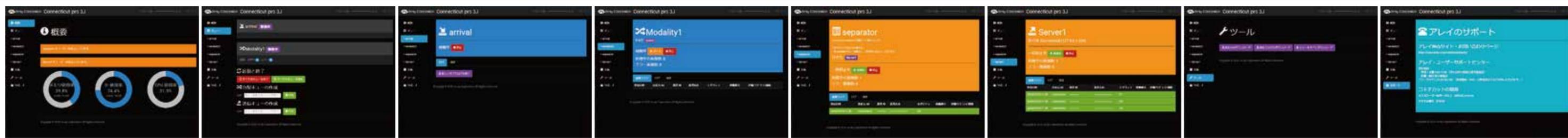
Connecticut pro

 Array Corporation

複雑な運用ルールをシンプルに。アレイのDICOMルーター

Connecticut pro

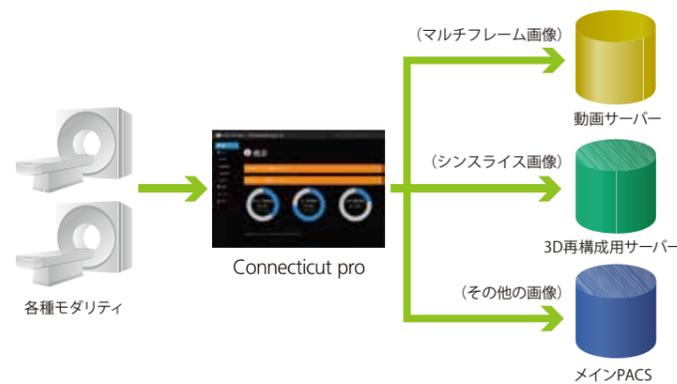
Connecticut proはさまざまなDICOMデータを、設定したルールにしたがって最適な形式に自動変換し、必要なサーバーに配信するという、ほかに例を見ないユニークなコンセプトの製品です。複数の送信先を指定でき、しかも情報編集の方法や送り先サーバーの選択条件なども強力なスクリプト(プログラム)を使って自由に設定できます。複雑な運用ルールも Connecticut proにお任せください。



運用例 1

DICOM情報による送信先の振り分け

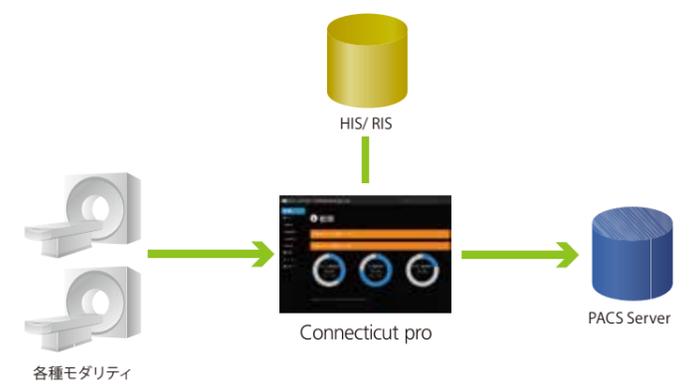
Connecticut proでは、DICOM属性の内容に応じて転送先のサーバーを自動選択できます。たとえばマルチフレーム画像は動画専用サーバーに、シンスライス画像は3D再構成用サーバーに、それ以外の画像をメインPACSに送信するなど、ニーズに合わせて送信先を自由に設定できます。各サーバーとの接続が1つにできるのもメリットです。



運用例 2

HIS/RISと連携して患者情報を自動修正

モダリティから送信されるDICOMデータの中の患者情報は、患者ID以外の情報が空欄のままであったり、患者名にアルファベットと2バイト文字が混在していたりなど、不完全な場合やさまざまな不整合が多く見られます。Connecticut proを使うとHIS/RIS情報とのマッチング処理によって、このような不完全な情報を完全に整合性のある情報に自動的に修正できます。数多くの施設でこの便利な機能をご利用いただいています。



【特長・機能】

DICOM Storage SCU / SCP

DICOM Verification SCP

ルーティング機能 (最大4入力・4出力)

スプール機能

Transfer Syntax の自動変更

サポートする形式

- ・ Implicit VR Little Endian
- ・ Explicit VR Little Endian
- ・ Explicit VR Big Endian
- ・ JPEG Baseline
- ・ JPEG Extended
- ・ JPEG Lossless, Non-Hierarchical
- ・ JPEG Lossless, Non-Hierarchical, First-Order Prediction
- ・ RLE
- ・ JPEG 2000
- ・ JPEG-LS

webによる各種設定

属性情報の付加・変更

DICOMファイルの手動送信

リモートメンテナンス

各種のカスタマイズ

- ・画像フォーマットの変換
- ・画像ビット数の変換
- ・パレットカラーの展開

【概要】

外形寸法： 本体 W169mm×D445mm×H386mm

質量： 本体 約11.3kg*

電源： 100V (50 / 60Hz)

消費電力： 750W

内蔵メモリ： 16GB

内蔵ドライブ： 512GB SSD+512GB SSD (RAID1)

*このほかに、キーボード・マウス・UPSが付属します。

- ハードウェアはご要望により変更可能です。
- アレイの製品は充実したサポートプランが用意されています。くわしくは、ご利用の販売店またはアレイまでお問い合わせください。

 Array Corporation アレイ株式会社

151-0053 東京都渋谷区代々木3-42-10 tel.03-3320-3911 fax 03-3320-3696 / sales@array.co.jp / www.array.co.jp

© 2017 Array Corporation. All right reserved. Array Corporation, Array Corporation ロゴは、アレイ株式会社の商標です。

この資料に記載されている会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

この資料の記載内容は2020年11月現在のものです。この資料に記載された内容、製品の仕様などは予告なく変更することがあります。

cn15010280